

第110回奨学生研修会

鹿児島県・鹿児島市



開催日: 2018年6月8日～6月10日

参加者: 2017年度奨学生15名

2018年度奨学生12名



主催: 一般財団法人 共立国際交流奨学財団

1日目 交流会(19:00~)

@鹿児島県 台所 くろ屋

研修会日程

菊川理事長挨拶



TSERENLKHAGVA
PUREVTSERENさん



奨学生自己紹介

SATRIO BUDI
PRAKOSOさん



RUPASINGHA ARA
CHCHILAGE HIRUNI
MADHUSHA RUPAS
INGHAさん



研修会初日の
夜は、奨学生全
員で鹿児島の郷
土料理を楽しみ
ました。

皆さん、美味し
い料理を食べな
がら、それぞれの
専門や自国の
ことなど話に花を
咲かせました。

奨学生の皆さんは国籍も専門も様々ですが、日本で勉強するという同じ目標を持った仲間同士、仲を深めることができましたようです。



2日目 フォト・ロゲイニング(10:00~15:00)

<第110回鹿児島県学生研修会 フォトリゲイニングマップ>

桜島絶景ポイント①
桜島をバックに
写真を撮ろう!

桜島絶景ポイント②
桜島をバックに
写真を撮ろう!

エリア③城山エリア

- 城山展望台—30point
- 西郷隆盛の銅像—15point
- 西郷洞窟—15point
- 西南戦争の銃弾跡—20point

ホテル
(ドームイン鹿児島)
START 10:00
GOAL 15:00

エリア②鹿児島中央駅エリア
【見学/課題作成】維新ふるさと館・ドラマ館
※入場料¥240(購入時に一日乗車券を見せると割引されます!)

- 大久保利通の銅像—10point
- 西郷隆盛の誕生地—10point
- 下級武士の武家屋敷—15point
- 若き薩摩の群像—5point

地下1階の維新体感ホールで
上映されるドラマを見よう!

エリア①仙巖園エリア
【見学/課題作成】仙巖園と尚古集成館
※仙巖園入口(受付)にてスタッフがお待ちしています!
スタッフから入場券を受け取ってください。

仙巖園内

- 御殿観覧—20point
- 鶴灯籠—15point
- 反射炉跡—5point
- 桜島展望ポイント—10point
- 旧鹿児島紡績所技師館(異人館)—30point

エリア④石橋記念公園エリア

- 石橋記念公園内
- 石橋—20point
- 多賀山公園内
- 東郷平八郎の銅像—80point

<フォトロゲイニングのルール>
マップに載っている場所に行き、写真を撮るとポイントがもらえます。合計ポイントが高いチームが優勝です。

<ポイントの獲得方法>

- ① 仙巖園、尚古集成館、維新ふるさと館は必ず全員見学をして、感想を書いてください。
- ② エリア①、②の他に興味のあるエリアを選んで最低でも3つのエリアに行ってください。
- ③ ②がついている場所で写真を撮ってください。
- ④ 鹿児島名物を見て、写真を撮って提出すると、ポイントがもらえます!

※写真には必ずチームのメンバーを写してください!

■移動: エリア間の移動は、シティビュー(バス)・市電(路面電車)でできます。

■必ず15:00までにホテルに戻ってきてください。
※バスは30分に1本しか来ないので、遅れないように気を付けてください。

■写真・課題用紙提出方法:
ホテルに着いたら、スタッフに課題用紙を提出し、チームの代表者が写真をメール添付でまとめて送って下さい。
写真提出先: kysritsu1995@gmail.com
※メールには必ずチーム名・メンバーの名前を入れてください!

■昼食について: 各自好きなところで昼食をとってください。
参考・・・エリア③鹿児島中央駅周辺(飲食店がいろいろあります!)

第110回鹿児島県学生研修会 2018/06/09 実施

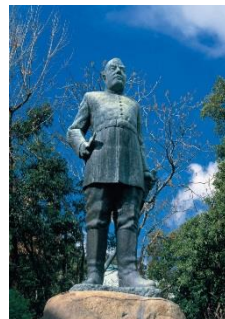
西郷隆盛、大久保利通、東郷平八郎、島津斉彬など、明治日本の近代化を支えた偉人たちの足跡を写真撮りながら巡り、チーム毎に撮った写真のポイントで競いました。

主なフォト・スポット

薩摩藩の迎賓館ともなった仙巖園



西郷隆盛の生誕地と銅像



日本初の工業地帯、集成館



2017年度奨学生
2018年度奨学生

フォト・ロゲイニングチーム



Aチーム

Oyunchimeg Erdeneeさん
肖开提 排茹扎さん



Bチーム

TAMANG KUMARさん
張 国珍さん



Cチーム

楊 美玲さん
BUI THI BAO NGOCさん



Dチーム

舒 清雲さん
REBEKA SULTANAさん



Eチーム

那 木拉さん
SATRIO BUDI PRAKOSOさん



Fチーム

周 曉潔さん
VU THI MINHさん



Gチーム

DIERA NATHANIAさん
安 ジョンさん



Hチーム

申 允美さん
PARAJULI SUSMAさん



Iチーム

TSERENLKHAGVA PUREVTSERENさん
AYE MYAT MONさん



Jチーム

匡 曉旭さん
NGUYEN THI MINH
PHUONGさん



Kチーム

SUKHTSOODOL LKHAGVADORJさん
YOENG JYE YEOHさん



Lチーム

KHAIRUL HASNIさん
KIM NAJUNGさん

Mチーム

RUPASINGHA ARA
CHCHILAGE HIRUNI
MADHUSHA RUPAS
INGHAさん
孫 壘さん



Nチーム

TIEU THI HANG
さん
込山 奏絵さん
(財団スタッフ)

♪ フォト・ロゲイニング中の奨学生 ♪

エリア① 仙巖園と尚古集成館



エリア② 鹿児島中央駅・維新ふるさと館



エリア③ 城山



エリア④ 石橋記念館

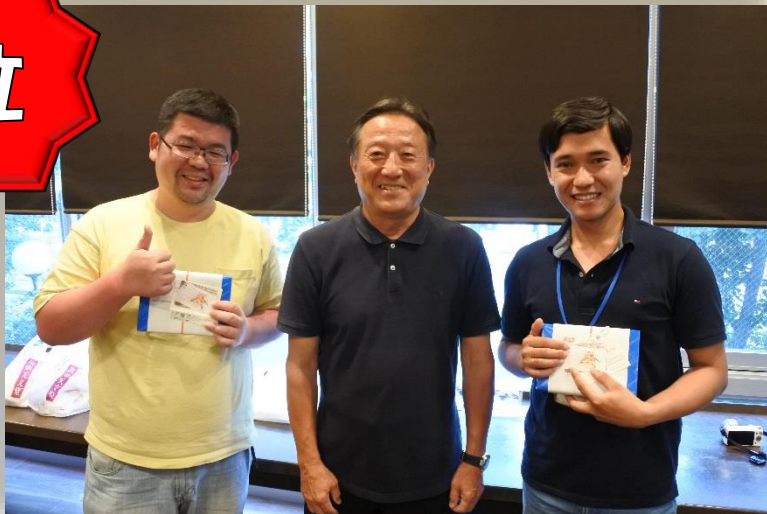


★結果発表・表彰式★



フォト・ロゲイニング採点の結果、以下の5チームが入賞しました♪その他のチームも景品をゲット！皆さん、お疲れ様でした。フォト・ロゲイニングを通して、少しでも明治日本の近代化を感じ取れていたら嬉しいです。

1位



Bチーム

TAMANG KUMARさん

張 国珍さん

2位

Eチーム

那 木拉さん

SATRIO BUDI PRAKOSOさん



Aチーム

Oyunchimeg Erdeneeさん

肖开提 排茹扎さん

3位



4位



Iチーム

TSERENLKHAGVA PUREVTSERENさん

AYE MYAT MONさん

5位



Cチーム

楊 美玲さん

BUI THI BAO NGOCさん

研修会感想紹介

- ① 鹿児島で、日本の近代化についてわかったことを書いてください。
- ② 鹿児島で、印象に残った歴史上の人物1人と、その理由を書いてください。
- ③ フォトリゲイニングをして、友人に紹介したいと思った場所を1つと、その理由を書いてください。

1位

TAMANG KUMARさん(2017年度奨学生)

- ①鹿児島で、日本の昔の歴史について様々な事について学びました。特に明治維新の時代に活躍した政治家の事です。外国を嫌いその時の日本は世界とつながって変わって現在の日本になった物語、勉強になりました。福岡にもあまりない、鹿児島では、観光客のため色んな言語の情報サポート日本の近代化につながっているではないと思いました。
- ②鹿児島で歴史上の人物と言ったら大久保利通さんと思います。大久保利通さんは、1871年に明治新政府の副使として欧米を視察しました。そこで、大久保利通さんは西洋の進んだ技術や文化を見て衝撃を受けました。帰国後は、強い権限を持つ内務卿として富岡製糸工場を作るなど殖産興業による日本の近代化に向けて尽力しました。この理由から近代日本の基礎をつくった人と呼ばれています。
- ③本日のフォトリゲイニングをして、友人に紹介したい場所は維新ふるさと館です。日本の様子と明治維新を支えた英雄たちの姿を展示、映像、ゲームなど多彩な演出で分かりやすく紹介されています。メインのホールでは、2本のドラマ「維新への道」と「薩摩スチューデント、西へ」を上演されており、薩摩の先人が語りかけ、ドラマを楽しく学べます。

張国珍さん(2018年度奨学生)

- ①薩摩藩が海外渡航禁止された鎖国時代に日本の未来のために秘密使節と若い武士の19人を命じて海外のイギリスへ派遣した。留学生たちが長い旅で海外の文化と技術を衝撃されて一生懸命外国の良い所を学びました。彼ら帰国後、明治政府で活躍して、実業家教育者になりました。その後の明治維新に重要な役割を果たしました。
- ②鹿児島の代表人物といえば西郷隆盛だと思います。西郷隆盛の一生についての大河ドラマが放送されました。そして、西郷さまの印象が残りました。また、俳優の鈴木亮平が西郷隆盛役を担当しました。でも、フォトリゲイニングのきっかけで西郷隆盛の銅像を見ました。彼の目が大きくて顔が濃くて鈴木亮平とぜんぜん似てないと驚き入りました。ですから特に印象に残りました。
- ③鹿児島ならではの維新ふるさと館が絶対おすすめします。友達が鹿児島がきたら紹介したいと思います。ここ来ると、明治維新を中心に薩摩藩や日本の歴史について展示されているんです。西郷隆盛だけではなく、それ以外にも多彩な人材がここで紹介されます。また、明治維新に関する映画が上映していて西郷隆盛などの人偶も付き合って登場します。映画の内容は詳しくて筋道があきらかでわかりやすいです。英語や中国語の副音声も提供しています。そして台湾の朋友も理解できます。だから紹介したいと思います。



2位

那 木拉さん(2017年度奨学生)

- ①実は、日本の近代化、工業化は鹿児島からスタートしたのがわかりました。薩摩藩は日本の南端に位置し、これと前後して外国船が日本近海に頻発する事態にも危機感を抱いていました。これらの今日に対応できる力をつけようといち早く近代化に乗り出したのが薩摩藩だった。薩摩藩が、今の鹿児島市磯地区に今でいう工業コンビナートがつくり、「集成館」と名付けた。これは日本近代化の始まりであることがわかった。
- ②鹿児島で、一番印象に残ったのが、西郷隆盛です。西郷隆盛は緊迫する日本の政情の中で、長州征伐、薩長同盟、王政復古、戊辰戦争、江戸城無血開城など主要な局面でことごとく活躍し、明治維新最大の功労者で薩摩藩の巨星である、征韓論で敗れ、その後、鹿児島に戻り、私学校を立ち上げ、教育に力を注ぎます。私学校生徒の暴動に端を発した西南戦争で、敗北し、自決する。
- ③鹿児島に来るなら、友人に一番紹介したい場所は“維新ふるさと館”である。西郷隆盛や大久保利通など、明治維新において多大な影響を及ぼした藩士が多く在籍した鹿児島県の薩摩藩、明治維新の故郷とも言えるゆかりの地で、明治維新についての展示を見られる場所である。ここで、たくさんの事件が起こり、重要な人物が日本のあちこちでつながりあっていた明治維新の歴史について、展示からわかりやすく学ぶことができます。

SATRIO BUDI PRAKOSOさん(2018年度奨学生)

- ①明治維新時代には留学の精神を学び、それをコピーすることがでに日本(日本)を支援しています。映画館は鹿児島市のアイコンを表示することができます。鹿児島は日本で最も興味深い場所の一つです。今、鹿児島が勉強に適しているかどうかは分かり、国の戦略について話し合っています。
- ②若き薩摩の群像は私の好きな人です。彼らは知識から軍事人間の生活、インフラ技術について時刻を支援することができます。成功の人々は、次世代の精神を高めることができます。日本からの外国人は今まで日本の軍事産業の改善を行っている。
- ③場所維新ふるさと館。理由は現代技術との歴史は、素晴らしいものでした。マネキンは元のように見えます。インドネシアから友達を招待します。彼らはアートがとても好きです。今、鹿児島の興味深い場所や日本の歴史について話すことができます。



3位

OYUNCHIMEG ERDENEESさん(2017年度奨学生)

- ①成館プロジェクトにとっても興味を持ちました。日本の歴史を次の世代に残すために色々プロジェクトをして世界文化遺産にしているのが良かったです。昔の日本の姿を見れて良かったです。

肖开提 排茹扎さん(2018年度奨学生)

- ③紹介したら仙巖園です。仙巖園は鹿児島市吉野町字磯にある薩摩藩主島津氏の別邸跡とその庭園、桜島を築山に、錦江湾を池に見立てた壮大な庭園です。そんな雄大な景色が仙巖園の最大魅力です。南の玄関口といわれた薩摩の歴史・風土にふさわしく、中国文化の影響が色濃く見られることが仙巖園の特色の1つです。さらに温帯を亜熱帯の境に位置することから、数多くの珍しい植物が植えられています。2015年にはこれら史跡・建物を構成資産とする「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されました。きたひと誰もがここが大好きとおもいます。

引率後記



第110回奨学生研修会(2泊3日)は、日本の近代化の先駆けの地であり、多くの歴史的偉人を輩出した地でもある鹿児島県鹿児島市において、行われました。

昨年に続き2度目の参加となる2017年度奨学生15名と、初めての参加となる2018年度奨学生12名の、計27名の奨学生が全国各地から集まりました。

1日目の夜は、市内の鹿児島郷土料理が楽しめる居酒屋にて、顔合わせ歓迎交流会が行われました。2017年度生にとっては、お互いに1年ぶりの再会となるので、久しぶりの再会を楽しんでいるようでした。2018年度生は、最初は緊張した面持ちでしたが、一緒に食事をし、互いに自己紹介をする中で次第に緊張がほぐれていったようでした。自身の勉強や日本での就職活動などについて情報交換をしながら、交流を深め、有意義な時間が過ごせたのではないかと思います。

2日目のフォトロゲイニングは、2人ペアで鹿児島市内の明治維新や近代化に関する場所を写真撮影しながらポイントを獲得していくという内容でしたが、5時間という限られたゲーム時間の中、チームごとに効率良く回る作戦を立てるなど、大変盛り上がっていました。

同時に、ゲームを通して鹿児島を訪れるまではよく知らなかったという日本の近代化の歴史的経緯、明治維新についても理解を深めることができましたようです。

2泊3日を過ごす中で、互いに新たな友人となり、また、今まで知らなかった日本の文化、歴史を新たに学んだこの研修会が、奨学生にとって忘れられない貴重な経験になったことを願います。(込山)



今回鹿児島で実施した第110回奨学生研修会には、2017年度・2018年度の奨学生計27名が参加しました。

奨学生は全国各地の大学院・大学・専門学校で勉強に励んでおり、専門や将来の目的も様々ですが、日本で勉強するという同じ目標を持った者同士すぐに打ち解けて仲良く談笑する姿が見られました。初日の夜に行われた交流会では鹿児島の郷土料理を囲みながら、それぞれの母国の話から恋愛話まで、話に花を咲かせ盛り上がりしました。

2日目のフォトロゲイニングは予報と違って変わっての快晴で、炎天下の中歩き回る事となりました。「暑い」「疲れた」という声があちこちから聞こえてきましたが、みんな表情は明るく満面の笑顔で、ゲームをととても楽しんでいるようでした。驚かされたのは、奨学生の皆さんの好奇心・探究心の旺盛さです。フォトロゲイニングといってもただ写真を撮って回るだけにせず、展示物や上映ドラマなどから明治日本の近代化について非常に多くの学びを得ていました。「もっときちんと見て勉強したかったけれど時間が足りなかった」という声も多く、奨学生の皆さんの意識の高さに改めて感じ入りました。

2泊3日という短い時間でしたが、この研修会が奨学生の皆さんの中に素敵な日本の思い出として残ってくれば幸いです。(齋藤)

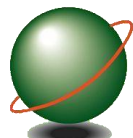
一般財団法人 共立国際交流奨学財団

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-8

TEL:03-5295-0205 FAX:03-5295-0206

E-mail:kif-info@dormy.co.jp

URL:<http://www.kif-org.com/>



K.I.F

